

第24回

岡大サイエンスカフェ



合鴨農法を科学する

～水田から畑へと広がる農業の魅力～

講師 岡山商科大学経営学部（前岡山大学農学部）

教授 岸田芳朗

農薬・化学肥料・農業機械を組み合わせた近代農業が定着するまで、堆肥を中心とした土づくりによって維持されてきた田んぼ内の生物層は豊かでした。そこにはフナ、ドジョウ、タニシ、セリなど多くの小動物と野草が育ち、農家の貴重な蛋白源やミネラル源として食卓を飾っていました。その畦にもダイズなどの作物が植えられ、まさに田んぼは動物と植物に囲まれた豊かな自然そのものでした。

この視点を取り入れたのが合鴨一水稲同時作としての合鴨農法です。合鴨農法の大きな特徴は、水稲と水稲の株間の未利用空間や、それまで邪魔者扱いをしてきた草と虫をそれぞれ農業資源として位置付けたところにあります。近代農法において、田んぼはイネを作る場ではありませんでした。しかし、鴨飼育と水稲栽培を有機的に結合させた合鴨農法は、田んぼという空間で鴨肉と米を同時に産み出す総合技術であり、農薬と化学肥料によって汚染された生態系を回復させ、フナやドジョウなどの失われた生き物を取り戻しています。今、合鴨農法が水田から畑へと広がり始めています。今回のサイエンスカフェでは、この農法の魅力を科学的に探ります。



参加者募集

◆開催日時

平成23年6月23日（木）

午後6:00～7:30

◆開催場所

岡山市デジタルミュージアム4階講義室

◆申込先

岡山大学研究推進産学官連携機構

社会連携本部

TEL: 086-251-7112 FAX: 086-251-8467

E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp

氏名・年齢・連絡先は必ず明記してください

◆締め切り

平成23年6月17日（金）午後5時

◆参加費 無料（飲みもの含む）

◆問い合わせ先

社会連携本部 青山・松田 TEL: 086-251-7112



本催しはJSTイノベーションブランチ岡山の協賛を受けております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも